



115期 株主通信

TDK TODAY

VOL.47 2011/SUMMER



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、2011年3月31日に終了しました2011年3月期の連結業績についてご報告いたします。

先進国における緩やかな景気回復、中国を中心とした新興国での高成長が見られた当期において、当社の連結業績に影響を与えるエレクトロニクス市場については、セット製品(最終財)によって異なった生産水準となりました。

- 大幅に増加したスマートフォン、タブレット端末の生産が市場の牽引役となり、また、自動車や産業機器関連の生産は引き続き堅調に推移しました。
- 薄型テレビ、ノートパソコン及びハードディスクドライブ(HDD)等の一部セット製品においては、需要変動による生産調整が生じました。

また、東日本大震災とその余震、計画停電等の影響により、当社グループの東北や関東における製造及び開発拠点の稼働が一時停止する事態となりました。しかしながら、関係する方々からの温かいご支援等により、すべての拠点において稼働を再開いたしました。

このような経営環境の中、当社グループの連結業績は、売上高8,757億37百万円(前期8,088億58百万円、前期比8.3%増)、営業利益638億42百万円(前期257億74百万円、前期比147.7%増)、税引前当期純利益600億65百万円(前期219億7百万円、前期比174.2%増)、当社株主に帰属する当期純利益452億64百万円(前期135億20百万円、前期比234.8%増)、1株当たり当社株主に帰属する当期純利益金額350円90銭(前期104円82銭)となりました。

また、当期における為替変動による影響額は、売上高で約574億円、営業利益で約180億円のそれぞれ減少となりました。

(単位：百万円、%)

| 科目 | 期 | | 前期 (2009.4.1~2010.3.31) | | 当期 (2010.4.1~2011.3.31) | | 増減 | |
|-----------------------|---------|-------|----------------------------|-------|----------------------------|-------|----|-----|
| | 金額 | 売上高比 | 金額 | 売上高比 | 金額 | 増減率 | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 808,858 | 100.0 | 875,737 | 100.0 | 66,879 | 8.3 | | |
| 営業利益 | 25,774 | 3.2 | 63,842 | 7.3 | 38,068 | 147.7 | | |
| 税引前当期純利益 | 21,907 | 2.7 | 60,065 | 6.9 | 38,158 | 174.2 | | |
| 当社株主に帰属する当期純利益 | 13,520 | 1.7 | 45,264 | 5.2 | 31,744 | 234.8 | | |
| 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益金額 | | | | | | | | |
| — 基本 | 104円82銭 | | 350円90銭 | | | | | |
| — 希薄化後 | 104円74銭 | | 350円57銭 | | | | | |

CONTENTS

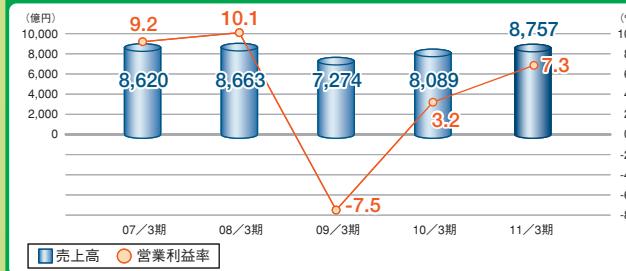
もくじ

TDK TODAY
VOL.47

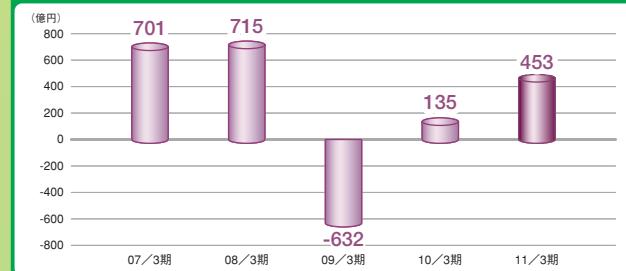
| | | | |
|--------------|---|-------------|----|
| 株主の皆様へ | 1 | TOPICS | 6 |
| 連結データハイライト | 2 | だから、やっぱりTDK | 7 |
| 製品別業績概要 | 3 | 名句の旅&TDK | 9 |
| 東日本大震災の影響と対応 | 5 | 株式の状況 他 | 10 |

連結データハイライト

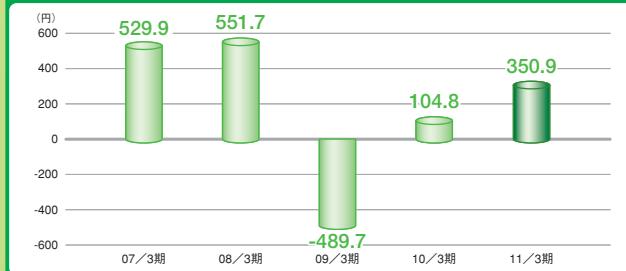
売上高及び営業利益率



当期純利益 (損失)



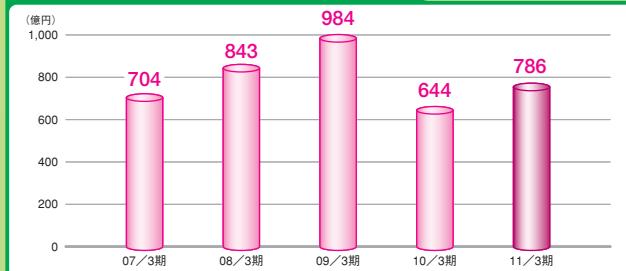
一株当たり当期純利益 (損失)



一株当たり配当金



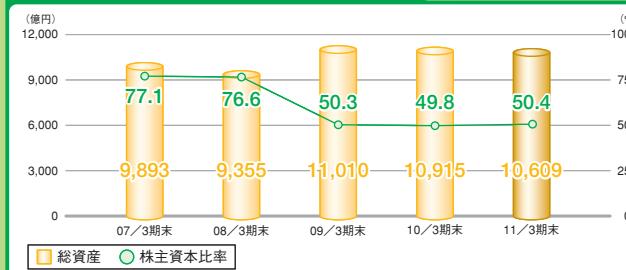
固定資産の取得



研究開発費



総資産及び株主資本比率



従業員数



製品別業績概要

当社グループは、電子部品等の製造・販売を主な事業としており、「受動部品」と「磁気応用製品」の2つの報告セグメントと、それらに属さない「その他」セグメントに分類されます。各セグメントを構成する主な事業は、右記のとおりです。

| 区分 | 構成する主な事業 |
|--------|---|
| 受動部品 | セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス(コイル、フェライトコア、トランス)、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ |
| 磁気応用製品 | 記録デバイス、電源、マグネット、記録メディア |
| その他 | エナジーデバイス(二次電池)、メカトロニクス(製造設備)等 |

※従来のEPCOS製品は、受動部品セグメントの同種の事業に各々振り分けております。

▶ 受動部品

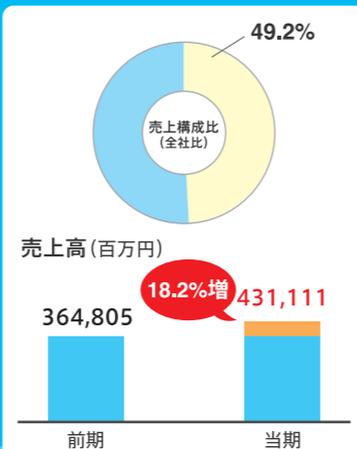
Passive Components

当セグメントは、①コンデンサ②インダクティブデバイス③その他受動部品で構成されております。売上高は、4,311億11百万円(前期3,648億5百万円、前期比18.2%増)となりました。

コンデンサ事業:セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサから構成されております。売上高は1,453億93百万円(前期1,331億8百万円、前期比9.2%増)となりました。セラミックコンデンサの販売が携帯電話をはじめとした通信機器及び自動車市場向けで増加するとともに、アルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサの販売が、産業機器市場向けで増加しました。

インダクティブデバイス事業:売上高は、1,357億62百万円(前期1,119億58百万円、前期比21.3%増)となりました。スマートフォンを中心とした通信機器市場向けの販売が大幅に増加し、情報家電、自動車、産業機器の各市場向けの販売も堅調に推移しました。

その他受動部品:高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品及びセンサで構成されております。売上高は、1,499億56百万円(前期1,197億39百万円、前期比25.2%増)となりました。高周波部品の販売が通信機器市場向けに大幅に増加しました。また、圧電材料部品・回路保護部品の販売が通信機器及び産業機器市場向けに増加し、センサの販売が自動車市場向けに増加しました。



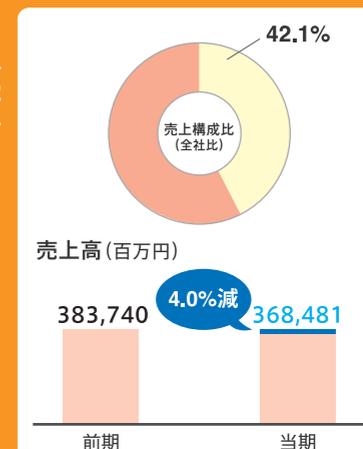
▶ 磁気応用製品

Magnetic Application Products

当セグメントは、①記録デバイス②その他磁気応用製品で構成されております。売上高は3,684億81百万円(前期3,837億40百万円、前期比4.0%減)となりました。

記録デバイス事業:主にHDD用ヘッドとHDD用サスペンションから構成されております。売上高は、2,575億22百万円(前期2,800億1百万円、前期比8.0%減)となりました。HDD用ヘッドの販売数量は僅かながら増加しましたが、売価下落及び米ドルに対する円高の影響を受け減収となりました。

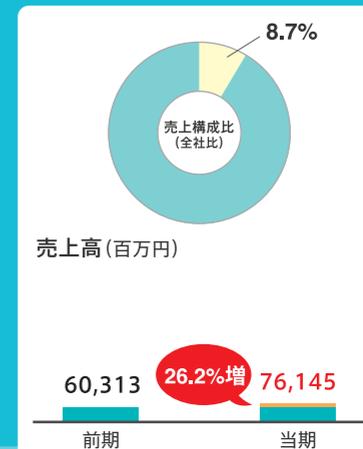
その他磁気応用製品:電源、マグネット及び記録メディアで構成されております。売上高は1,109億59百万円(前期1,037億39百万円、前期比7.0%増)となりました。電源及びマグネットの販売がそれぞれ産業機器市場及び自動車市場向けで増加した一方で、記録メディアの販売は減少しました。



▶ その他

Other

エナジーデバイス(二次電池)、メカトロニクス(製造設備)等で構成されております。売上高は761億45百万円(前期603億13百万円、前期比26.2%増)となりました。



東日本大震災の影響と対応

このたびの東日本大震災で被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

■全事業所の状況

TDKグループでは、地震直後に危機対策本部を立ち上げて情報収集を行い、人的被害のないことを確認いたしました。しかし、積層セラミックチップコンデンサを製造する岩手県のTDK-MCC北上工場で建屋の一部が破損し、また、有機ELディスプレイを製造する茨城県のTDKマイクロデバイスでは生産設備の一部が損傷いたしました。しかし、これらについては5月の初旬にはすべての生産能力を100%回復し、通常の稼動を再開しております。

■節電への取り組み

震災直後より電力不足が大きな問題となり、当社でも突然の停電により稼動ロスが発生するという事態に直面しました。現在、日本のすべての企業において節電への取り組みが重要課題となっておりますが、TDKグループにおきましても、海外を含めた生産体制の再編や、自家発電の導入などを実施し、節電対策に全力で取り組んでおります。

■TDKグループの義援金と募金

今回の震災に際しては、被災された皆様及び被災地域への支援のため、3月15日、TDKグループ全体で義援金1億円を贈ることを決定いたしました。同時に、国内外のTDKグループ各社の従業員による募金活動が行われ、最終的に総額58,072,576円の募金が集められ、各国の赤十字社等へ東日本大震災義援金として送金されています。このうち日本のTDK義援金口座に集められた募金については、4月8日にTDKグループ従業員名義で日本赤十字社に贈られました。(※海外における募金は5月13日の為替レートで換算)

TOPICS

750Gbpsの記録密度に対応できるHDD用ヘッドの本格生産を開始

TDKは750Gbps^{*}の記録密度に対応できるハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッドを開発し、すでに本格生産を行っています。今回開発した新製品は、従来品に比べて記録密度を約56%高めることに成功したもので、半導体微細加工技術、薄膜技術、微細加工プロセス技術、そしてヘッドをコントロールするためのセンサ技術などが盛り込まれています。TDKではデジタルデータ保存容量の増加が予測される市場に向けて、より高記録密度のHDD用磁気ヘッドの開発・製造を目指しています。

※750Gbpsの記録密度は2.5インチのHDD媒体1枚あたり500GB(MP3楽曲で約125,000曲、地上波デジタルテレビの非圧縮データ約63時間)の記録容量を実現できます。



過酷な使用環境に配慮した車載用パワーインダクタを開発

TDKのグループ会社であるTDK-EPC株式会社では、自動車のブレーキシステムや車載用ヘッドランプ、エンジンコントロールユニット(ECU)向け電源回路のDC-DCコンバータにおけるチョークコイル用のSMDタイプのパワーインダクタSPM6530-H(2011年4月量産開始)、およびVLM13580-D1/DR(2011年10月量産開始予定)を開発しました。

SPM6530-Hは、従来ノートパソコンやサーバー用のチョークコイルとして使用されてきた製品を、車載用に使用温度範囲を-40℃から+125℃まで耐熱性を改善。コイル部分には飽和磁束密度が高い金属磁性材料を使用し、小型、薄型形状を実現しました。

また、VLM13580-D1/DRでは-40℃から+150℃までの使用温度範囲を実現。低損失かつ直流重畳特性を改善したフェライトコアを使用し、一層の高効率化を図った新製品です。



SPM6530-H



VLM13580-D1/DR



クリーンなエコ社会に貢献するTDKの高性能マグネット
自然エネルギーの利用にも先進の素材技術が活躍します。

エネルギーの補給なしに磁力を保ち続けるマグネットは、エレクトロニクス社会を根底から支える受動素子。産業機器や家電機器用モータ、自動車用モータ、発電機、スピーカ、HDD、医療機器など、身の回りのさまざまな分野で活用しています。マグネットにはさまざまな種類がありますが、その双璧をなすのがコストパフォーマンスにすぐれたフェライトマグネットと、最強パワーを誇るネオジムマグネットです (TDKの商品名はNEOREC)。自然エネルギーの有効利用にもマグネットの働きは欠かせません。

ちょっと気になるKEYWORD

レアアース／レアメタル
産業などに役立つ金属のうち、存在量が希少な(レア)な金属をレアメタルといいます。コンデンサ材料のタンタル、バッテリー材料のリチウムなどがあります。レアアース(希土類元素)もレアメタルに含まれます。レアアースは鉱石から取り出した後、元素ごとの分離が難しく、18世紀から20世紀初頭にかけて発見された17の元素。希土類元素を主成分として含むマグネットを希土類マグネットといい、サマリウムを用いたサマリウム・コバルトマグネット、ネオジムを用いたネオジムマグネットがあります。

超電導マグネット
コイルに電流を流すと磁界が生まれ、マグネットと同等の働きをします。超電導マグネットは、低温状態にすると電気抵抗がゼロになる超電導材料を用いたコイルです。大電流を流しても電気抵抗がないので、発熱などの損失なしに大きな磁界が生まれ、超電導マグネットとなります。正式な建設指示が出たJR東海の磁気浮上式リニアモーターカー(通称“マグレブ”)は、ニオブ・チタン合金などの超電導材料を用いた超電導マグネットと、側壁に設けられた浮上コイルとの相互作用によって磁気浮上するしくみです。超電導コイルはエネルギーの貯蔵システムとしても構想されています。

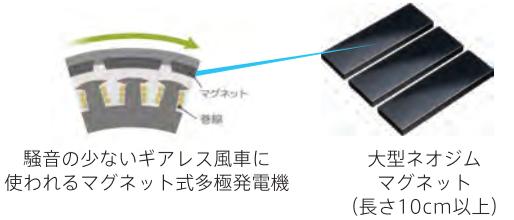
フェライトマグネット ネオジムマグネット“NEOREC”



風力発電システム

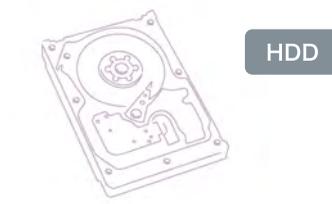


注目される洋上風力発電システムのイメージ



活躍の場を広げる
TDKのマグネット

情報通信機器



パソコンなどのHDD用の磁気ヘッドの駆動用モータに、強力なネオジムマグネットが利用されています。

ハイブリッドカー／電気自動車



小型DCモータ パワーミラー、パワーウィンドウなど、自動車にはフェライトマグネットを利用した多数の小型DCモータが使われています。

省エネ家電

洗濯機用ダイレクトドライブモータ

ギヤやベルトを用いないダイレクトドライブ方式は静音化に有利。薄型モータにフェライトマグネットが使われます。



エアコンコンプレッサ用モータ

強力なネオジムマグネットにより、コンプレッサ用モータの小型化が図られています。

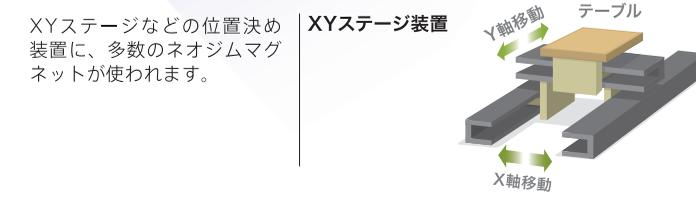
産業機器

XYステージなどの位置決め装置に、多数のネオジムマグネットが使われます。

ロボット用サーボモータ

AC/DCサーボモータの小型・高効率化にネオジムマグネットが貢献しています。

産業用リニアモータ



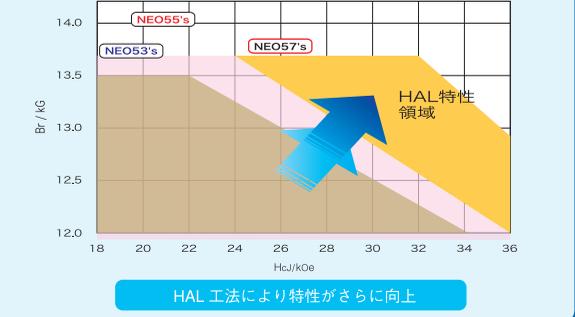
新工法による薄肉フェライトマグネット

優れたコストパフォーマンスのフェライトマグネットの中で、世界最高クラスの性能を誇るのがTDKのフェライトマグネットFB12材。TDKではこのFB12材をベースとして、独自の新工法“NS1工法”を導入し、高特性で厚みがわずか1.0~2.0mmという薄肉フェライトマグネットを実現しました。車載用モータの小型化をはじめ、医療機器用マイクロモータ用マグネット、また各種センサ用マグネットなど、幅広い用途に応用可能です。



ネオジムマグネットをさらにパワーアップ

“NEOREC”はTDKのネオジムマグネットの商品名です。先進の素材技術、焼成技術により、従来のNEOREC53シリーズを上回る高特性を実現したのがNEOREC55シリーズです。ネオジムマグネットでは、特性向上を図るために、希土類元素ジスプロシウムが添加されます。しかし、ジスプロシウムは希土類元素の中でも、きわめて希少で高価な元素です。そこで、TDKではジスプロシウムの使用量の削減と高特性化の両立を図る“HAL工法”を開発しました。この新工法を導入して、特性を一段と高めたネオジムマグネットは、NEOREC57シリーズとして量産化準備を進めています。



名句の旅&TDK

第5回【静岡】

名句を生んだ各地の風物を訪ねながら、TDKの工場を紹介するシリーズの第5弾。今回は霊峰・富士を望む静岡県の旧東海道筋を巡ってみました。



新緑輝く山並みとうっすらと冠雪したままの夏富士。

目にかゝる時やことさら五月富士 松尾芭蕉

旧東海道筋の各地に芭蕉の句碑が建てられています。宿場の名物を詠み込んだものとして有名なのは、「梅若菜まりこの宿のとろゝ汁」という句。まりこ(鞠子・丸子)とは府中(現・静岡市)の次の宿場で、歌川広重の浮世絵「東海道五十三次」にも描かれたとろる汁を商う丁子屋は、往時の風情のまま今なお営業を続けています。

箱根峠、鈴鹿峠と並んで、東海道の難所とされたのは、金谷宿と日坂宿の間(現・掛川市)に位置する「小夜(さよ)の中山」という峠道。古来、歌枕としても知られ、歌人・西行は「年たけてまた越ゆべしと思ひきや命なりけり小夜の中山」という和歌を残しています。貞享元年(1684年)の芭蕉の「野ざらし紀行」は、郷里である伊賀上野の母の墓参とともに、吉野にある西行の旧跡・西行庵を目指した旅でした。芭蕉は小夜の中山を馬に乗って越えています。そのときに詠んだのが、「道のへの木権(むくげ)は馬に喰はれけり」というユーモアをまじえた句です。

「野ざらし紀行」の旅から10年後、「奥の細道」の旅から5年後の元禄7年5月11日、芭蕉は江戸深川の草庵から上方へ出立しました。箱根を越えると富士山は間近に迫ってきます。この道中で詠んだのが、「目にかゝる時やことさら五月富士」という句。旧暦五月ころの富士は、まだ山頂に真っ白な雪を残しています。青葉若葉の緑との対比がさぞ美しかったことでしょう。この旅は芭蕉最後の旅となりました。郷里の伊賀上野から大津、京都、奈良とめぐって大阪に至り、ここで持病を悪化させて、旧暦10月12日、芭蕉は51年の生涯を閉じました。旧暦十月の異称・時雨(しぐれ)月にちなみ、芭蕉忌は時雨忌とも呼ばれます。



【芭蕉最後の旅の行程】
元禄7年(1694年)旧暦5月11日、江戸深川の芭蕉庵を出立。五月富士を仰ぎながら東海道を進み、郷里の伊賀上野から大津、京都、奈良を経て大阪に逗留。持病を悪化させて旧暦10月12日に永眠。享年51歳。

工場探訪 TDK静岡工場

世界最高クラスの特性を誇る
フェライトマグネットの生産拠点

北に富士山、南に太平洋を望む静岡県南部の榛原郡相良町(現在の牧之原市)に、フェライトマグネットの生産拠点として、TDK静岡工場が竣工したのは1970年。重量ベースで世界の磁石生産量の90%以上を占めているのはフェライトマグネットです。酸化鉄を主成分とするため資源枯渇の心配がなく、コストパフォーマンスにすぐれたマグネットとして、家電機器や産業機器用モータ、自動車の小型DCモータなどに多用されています。TDKでは1999年、画期的なランタン・コバルト系フェライトマグネットFB9シリーズを開発。2007年には、さらに特性を高めたFB12シリーズを市場投入するなど、たえずフェライトマグネットの最先端の技術領域を切り拓いてきました。TDK静岡工場は原料を仮焼・粉砕する工程を有し、国内工場およびアジアの海外工場に材料を供給している主力工場。世界各地のフェライトマグネット生産ネットワークを支えるメインプラントです。



TDK静岡工場
(静岡県牧之原市女神31-1)

● 株式の状況 (2011年3月31日現在)

| | |
|----------|--|
| 上場証券取引所 | 東京(証券コード:6762)、ロンドン |
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 配当基準日 | 期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日 |
| 株主総会基準日 | 毎年3月31日(そのほか臨時に必要なときはあらかじめ公告いたします) |
| 公告方法 | 電子公告(当社のホームページ http://www.tdk.co.jp/に掲載いたします) |
| 1単元の株式数 | 100株 |
| 発行可能株式総数 | 480,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 129,590,659株 |

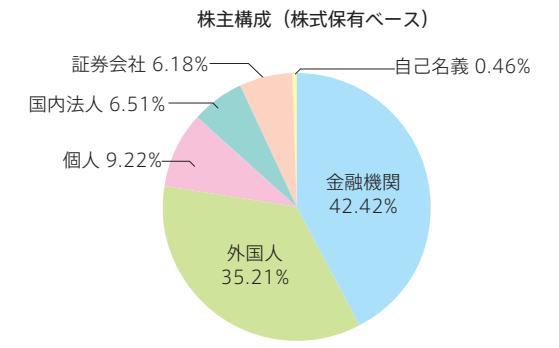
● 大株主 (2011年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|-------------|-------------|
| 1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 14,207 | 11.01 |
| 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 13,412 | 10.40 |
| 3. パナソニック株式会社 | 6,250 | 4.84 |
| 4. JPモルガン証券株式会社 | 3,767 | 2.92 |
| 5. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 3,722 | 2.89 |
| 6. SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT -TREATY CLIENTS | 2,500 | 1.94 |
| 7. 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口) | 2,495 | 1.93 |
| 8. 日本生命保険相互会社 | 2,140 | 1.66 |
| 9. 野村信託銀行株式会社(投信口) | 2,097 | 1.63 |
| 10. 東京海上日動火災保険株式会社 | 1,765 | 1.37 |
| 合計 | 52,355 | 40.59 |

(注記事項) 1. 持株比率は、自己株式(594,738株)を控除して計算しております。
2. 持株数、持株比率とも表示単位未満を四捨五入して表示しております。

● 株主の状況 (2011年3月31日現在)

株主数: 29,284名



● 取締役、監査役及び執行役員 (2011年6月29日現在)

| 取締役 | 監査役 | 執行役員 |
|-------------|------------|-----------------------------------|
| 取締役 澤部 肇 | 監査役 原 登 | 社長 上釜 健宏 |
| 取締役会議長 | 常勤監査役 四居 治 | 専務執行役員 Raymond Leung (レイモンド・リョング) |
| 代表取締役 上釜 健宏 | 監査役 中本 攻 | 常務執行役員 荒谷 真一 |
| 取締役 森 健一 | 監査役 増田 宏一 | 常務執行役員 藤原 賢一郎 |
| 取締役 荒谷 真一 | 監査役 澄田 誠 | 常務執行役員 小林 敦夫 |
| 取締役 梁瀬 行雄 | | 常務執行役員 植村 博之 |
| 取締役 米山 淳二 | | 執行役員 野村 武史 |
| 取締役 大野 亮一 | | 執行役員 石垣 高哉 |
| | | 執行役員 吉原 信也 |
| | | 執行役員 米山 淳二 |
| | | 執行役員 Robin Zeng (ロビン・ツェン) |
| | | 執行役員 逢坂 清治 |
| | | 執行役員 梶屋 雅隆 |
| | | 執行役員 松岡 薫 |
| | | 執行役員 広田 嘉章 |
| | | 執行役員 斎藤 昇 |
| | | 執行役員 Gerhard Pegam (ゲルハルト・ペガム) |
| | | 執行役員 桃塚 高和 |

お知らせコーナー

① 配当金に関するご案内

お受取り方法

◀◀◀ **どんな方法があるの？**

配当金をお受取りになるには、次の4つの方法があります。
(複数の銘柄をお持ちの場合)

ワンポイントアドバイス

お振込なら安心・スピーディー！
詳しくはお取引のある証券会社等へ！

「お振込み」の場合

1. 全銘柄の配当金を**証券口座にご入金**
2. 全銘柄の配当金を一括して**銀行口座へお振込**
3. 個別銘柄毎の配当金を**個別指定の預金口座へお振込**

ゆうちょ銀行等の窓口の場合

4. 個別銘柄毎の配当金を
「**配当金領収証**」を持参し窓口にてお受取り

確定申告

◀◀◀ **何を留意すればよいの？**

毎年の確定申告には次の書類を添付書類としてご使用ください。

ワンポイントアドバイス

受け取ったら大切に保管！
詳しくは中央三井信託銀行へ！

配当金を「お振込み」でお受取りの株主様

今回お送りした『**配当金計算書**』

※但し、「全銘柄の配当金を証券口座にご入金」の方法でお受取りの株主様は、お取引のある証券会社等にお問合せください。

配当金を「配当金領収証」にてお受取りの株主様

今回お送りした『**配当金計算書**』

未払配当金

◀◀◀ **今からでも間に合うの？**

まだ受取られていない過去の配当金は、下記の株主名簿管理人(中央三井信託銀行株式会社)にお問合せください。

② 各種手続き

◀◀◀ **どこに問い合わせればよいの？**

住所変更、単元未満株式の買増・買取、配当金受取方法の指定等は、お取引のある証券会社等にお申込ください。
但し、特別口座*をご利用の株主様は下記の口座管理機関(中央三井信託銀行株式会社)にお申込ください。

*特別口座の株主様へ〔2008年12月末までに株券をほふり(証券保管振替機構)へお預けにならなかった株主様〕

特別口座のままでは証券市場でご自身の株式の売却は出来ません!

この場合、まずは証券会社等にご本人様名義で一般口座を開設し、株式を振替えれば売買可能となります。また、単元未満株式をお持ちの場合は、同封されている「単元未満株式買増・買取請求」をご利用いただく方法もございます。詳しくは、下記の口座管理機関(中央三井信託銀行株式会社)にお問合せください。

| | |
|-----------------|---|
| 株主名簿管理人及び口座管理機関 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先及び電話照会先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-78-2031(フリーダイヤル) |
| 同取次窓口 | 中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店、日本証券代行株式会社の本店および全国各支店 |



TDK株式会社

〒103-8272 東京都中央区日本橋一丁目13番1号 <http://www.tdk.co.jp/>